

いつも私のコラムをご覧頂きまして有難うございます！

皆さんは昨年放送されていた下町ロケットはご覧になりましたか？

ご存知の方も多いとは思いますがあのヒットした「半沢直樹」やその後同じ時間帯で放送されていた「ルーズ・ヴェルトゲーム」と同じ池井戸潤さん原作のドラマです。どのドラマも企業戦士に様々な困難が降りかかり絶体絶命の危機にさらされながらも見事に乗り越えていく姿が描かれています。特に「ルーズヴェルト・ゲーム」と「下町ロケット」は社長役である唐沢寿明さんと阿部寛さんが部下や社員の反逆や反発を受けながらも少しずつ理解を得て最後は皆の協力のもと社員一丸となって難関を乗り越えたり、夢を叶えていくヒューマンドラマでいつも自分の会社に置き換えて見ていううちにおっさんになると涙腺が緩むせいか共に頑張ってくれているスタッフの事を思い出すと止めどなく涙が溢れ出て心が洗われるような気がします。

心が洗われると言うと先日同じ言葉を仰っている方がおられました、それは鈴虫寺の住職さんです。私は最近お客様に教えて頂いて知ったのですが、かなり有名なお寺みたいでテレビでもよく紹介されているそうですね。ご存知ない方のために簡単にご紹介しますと京都の桂の辺りにあるお寺で名前の通りお寺の中の温度調節をして一年中鈴虫がいるお寺で、お参りの流れとしては数千匹の鈴虫の鳴き声が響く部屋でお茶菓子を取りながら住職さんの説法を聞いた後御守りを買って、その後玄関近くにいりっしやるお地蔵さんにその御守りを手に挟んで手を合わせ、自分の名前と住所を告げてから1つだけお願い事をすると叶うと言われていて、実際叶った人が多いのか私が行った日もわざわざ遠方から来られてるリピーターさんも多数おられました。住職さんの説法はその時によって違うようですが私が聞いたのは和顔愛語(わがんあいご)と言う言葉でお経の中に出てくる仏語だそうです。「穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接する」という意味だそうです。つねに、周りに気を配り、相手を思いやることを忘れてはいけません。嫌なことがあっても、下を向かず前に向いて生きること。すると、笑顔は自然と縁を呼び、幸せを引き寄せる。と言うお話を伺い30分くらいの説法でしたがなんだか本当に心が洗われたような気がしました。

今年は「和顔愛語」を心がけて頑張ってお参ります、本年も宜しくお願い致します！

